

法味愛楽

「これさえあれば生きていける」もの

 せき 徳 すい
 釋 徳 水


パレスチナに1人の難民の少女がいました。年齢は10才。父親は既に亡く、母と子2人での苦しいキャンプ生活でした。そんな折、2人は親戚に身を寄せることになり大喜び。親戚には少女と同級生の男の子もいて、一緒に学校に通うことになりました。少女は「家族ができて、学校にも通えて、新しい友達もできるんだ」と夢心地でした。

ある日、算数の授業で少女は先生の出した問題が解けず、授業後、先生に叱られました。「あなたは今まで学校に通ってないんだから、もっと勉強をしないさい。このままだと学校をやめてもらうわよ!」。

少女は泣き出し心の中で叫びました。「先生叱らないで。私は好きで読み書きや計算が苦手な訳じゃない。すべて戦争が悪い!私、せつかく学校に通えるようになって喜

んでいるのに、学校をやめさせるなんて…」と。さて皆さん、この少女の夢は一体何でしょう? 答えは、驚くことなけれ「学校の先生」。理由は「読み書きができれば多くの人と話せて分かれ合えるし、計算ができれば商売をして、親に色々な物を買ってあげられる。そんな子供たちが増えれば、皆が平和に暮らせると思うから、先生になりたい」と言うのです。

少女のキャンプ生活は辛抱の連続でした。そんな時、親戚に身を寄せ、学校に通い、友達もできた幸せな日々。人は幸せな時には夢に向かってドンドン進んで行けると思いますが、壁にブチ当たった時が勝負どころ。先生に叱られても「平和のために先生になる」と言う少女の心は、法蔵菩薩が「道を求めてたとい身は苦難の毒に沈むとも願い果たさんその日まで忍び励みて悔いざらん」の心を思わせます。

御開山も念仏弾圧の中「人の嘲りも恥としない。(略) 弥陀を信じ順ずればそれが因となり、人が

疑い誇ってもそれが縁となる」と他力念仏を心の依り所(よりどころ)とされ、弾圧をも教化の礎(いしずえ)に念仏流布の手立てとされました。

釈尊も御開山もお金や健康を求めてはおられません。欲を満たすためにお金を使うことが正しいのでしょうか? また、健康な身体を持ちながら兵士となって人の生命を奪い、そして自分の生命をも落としていくことが真実なのでしょうか?

少女は「これさえあれば生きていける」ものを平和と言い切りました。争いのない、平和の香りが漂う真実の世界。それがお浄土。今僕が求めるべきものは、お金や健康からもうものではなく、真実から気づかせていただくものなのです。

少女の幸せな親戚での生活は、戦争悪化で僅か一ヶ月しか続きませんでした。この寒い季節、少女は今どうしているのやら…。いや、それ以上に僕を心配して下さいいるのが阿弥陀如来でありました。南無阿弥陀仏。(広島市安佐南区・浄栄寺)

本願寺参拝乗車券・ご本山念仏奉仕団
 かくれ念仏参拝旅行・親鸞聖人御旧跡めぐり

一枚のキップから、海外旅行まで

お問い合わせやご相談につきまして、
 下記へご連絡いただければ係員がお伺いいたします。

近畿日本ツーリスト(株)広島支店

※お問い合わせは…広島市中区八丁堀16番11号(日本生命広島第2ビル)

TEL(082)221-6112 FAX(082)223-2215

お仏壇をつかったの葬儀、法要、
 仏前結婚式をはじめとした、
 仏事のことならお任せください。

(株)びほう葬儀社

〒730-0801 広島市中区寺町2-9(広島別院西隣り)
 TEL(082)295-3033 FAX(082)295-3996